



ふらり らいふらりい



～図書室にはこんな本があります～

№. 188

*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) NHKドラマ「とと姉ちゃん」のモデルとされている大橋鎮子に関する資料があれば読みたい。

答) 調べたい人の著書だけでなく、関連資料も調べる場合は「全資料から探す」を使うと便利です。

目次に「大橋鎮子」という言葉が入っているものを含めて探すことができますので、大橋鎮子を取り上げられた記事や、他の人が大橋鎮子について書いているものも探すことができます。

全資料 → **大橋鎮子** → 26件該当 (図書: 5件、雑誌: 21件)

検索に使用した言葉は赤字で表示されるので、どの部分がヒットしたのかがわかります。

「大橋鎮子」の署名がない記事は、上記の検索ではヒットしてきませんが、大橋鎮子が創刊に参加した雑誌『スタイルブック』『暮しの手帖』も所蔵しています。『スタイルブック』は1冊のみですが、『暮しの手帖』は創刊号から増刊、別冊あわせて206冊を所蔵しています。

雑誌 → **雑誌タイトルから探す** → **暮しの手帖** もしくは**スタイルブック**

で検索してみてください。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

～手近にある薬～ 週報より⑬

今回は、昭和19年6月14日に発行された『週報 第399号』(317/Sh89/30)の中から、戦時下で物資不足のため、身近にある植物などを薬として利用することを薦めた記事を紹介します。

薬というと、誰でもこのごろでは、アスピリンやズルファミンなどのような合成薬品を考えがちですが、このような合成薬品が発見される前には、われわれの祖先は病気というと、極く手近にある植物、動物、鉱物等を探って薬にしていたのです。(中略)この大東亜戦争下、合成医薬品の原料は大事な兵器原料として使われているものが沢山ありますから、われわれは身近にある生物や鉱物に、いま一度新たな目を開き、これらの中で薬用として、極く簡単に家庭でも利用できるものは、極力利用しなければなりません。次に簡単に利用できるものをお知らせしましょう。

解熱薬 うめ…未熟の果実を採って果皮を剥がし、核を除いて煤煙中に吊して燻製にしたもの(外がこげ、中が柔らかかな程度)を烏梅(うばい)といい一日量五グラムを内服する。また梅干を同様にしてもよい。この烏梅は鎮咳、祛痰(たんきり)及び蛔虫駆除の効がある。

健胃薬 せんぶり…広く知られた薬草で、全草を採集乾燥したものを当薬といい、一日要量一〇グラム内外を煎服する。

止血薬 われもこう…山野に自生する草木で、その根を採集し乾燥したものを地榆(ちゆ)といい、一日用量二〇グラム内外を煎服する。吐血、下血、月経過多等に用いる。また濃煎汁は外傷の止血にも用いられる。

皮膚病薬 もも…葉を浴湯に入れると汗疹、湿疹等の予防に効がある。

* * * *

粉末にする場合は搗鉢(すりばち)でする程度で十分です。

煎服というのは例えば薬草五グラムなら、これに五百グラムの水を加えて土器の中へ入れ、ほぼ半分以下になるまでに煎じ詰め、布等で濾したものを一回に服むか分服するのです。

※ 旧漢字、旧かなづかいは改めました。

—図書室から—

ハンガオールにて「戦争と大学」に関する資料を紹介しています。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 188

2016年4月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1